

環境経営 レポート

2024年度版

対象期間

2023年10月～2024年9月

発行年月日

2024年11月1日

株式会社 武揚堂



目次

計画の策定 **Plan** 1

計画の実施 **Do** 8

取り組み状況の確認及び評価 **Check** 10

全体の評価と見直し **Act** 13

1. 組織の概要

(1) 企業名および代表者

株式会社武揚堂 代表取締役 小島 武也

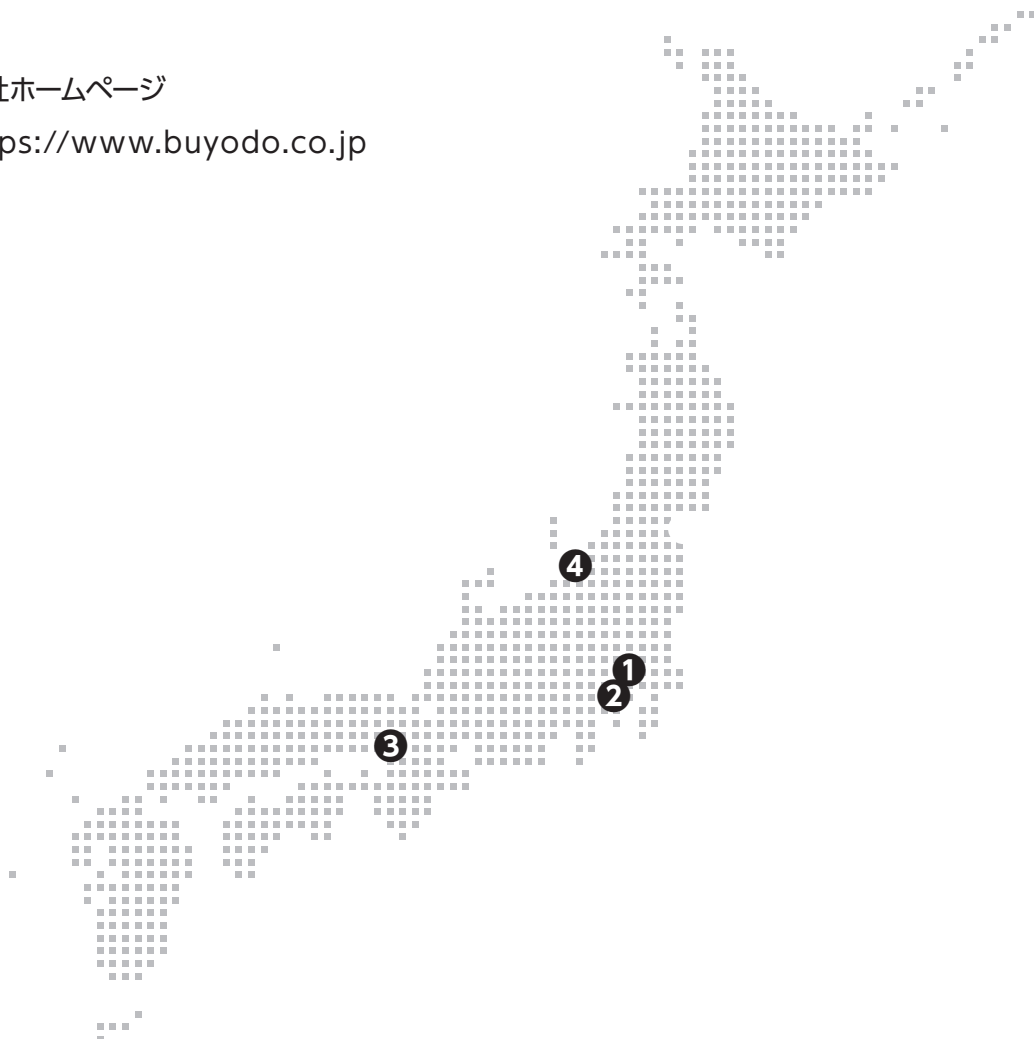
(2) 所在地

- | | | |
|---------|--------------------|------------------|
| ❶ 本社 | 東京都中央区日本橋3-8-16 | TEL:03-3271-2451 |
| ❷ 目黒事業所 | 東京都目黒区碑文谷1-3-25 | TEL:03-3714-7431 |
| ❸ 大阪支店 | 大阪府大阪市中央区内本町1-2-13 | TEL:06-6941-4911 |
| ❹ 北陸営業所 | 新潟県新潟市江南区東船場3-2-3 | TEL:025-382-6331 |

※仙台営業所は2024年9月で閉鎖となりました。

会社ホームページ

<https://www.buyodo.co.jp>



(3) 環境管理責任者氏名および連絡先

環境管理責任者 貝瀬公一郎 TEL:03-3714-7431

(4) 事業活動の内容

地図印刷、一般印刷、現地調査、電子地図作成、屋外広告施工、Web制作

事業所	従業員数	主な事業活動	認証・登録
本社	0名	※登記上の本社所在地であるが、現在実質的な本社機能は目黒事業所にある	対象
目黒事業所	70名	本社機能(代表者が常駐)、営業、制作、製造、車両8台(うち1台運送用)	対象
大阪支店	6名	営業、制作	対象
北陸営業所	5名	営業、制作、車両1台	対象

計81名

※従業員数は2024年10月1日現在

(5) 事業規模

売上高 9.7億円(2024年9月度現在)

従業員数 81名(正社員76名、パートタイマー・アルバイト社員5名)

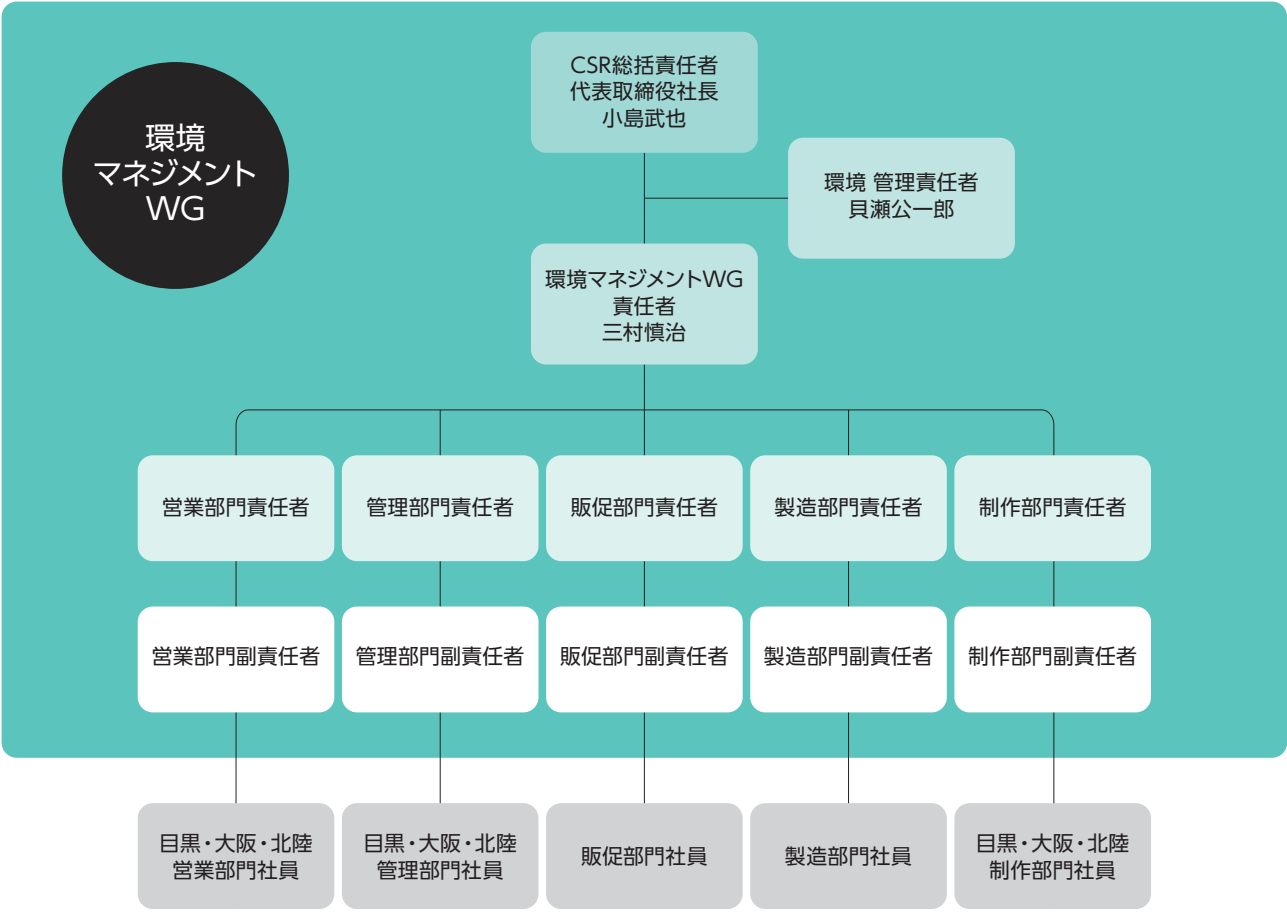
敷地面積 1933.82㎡(本社 145.83㎡、目黒事業所 1593.51㎡、大阪支店 117.35㎡、北陸営業所 77.13㎡)

車両台数 9台

主要設備 オフセット印刷機、各種DTP用端末、大型インクジェットプリンター など

(6) 実施体制図および役割

2024年10月1日改訂



社長	経営における課題とチャンスの明確化
	環境経営方針を策定する
	EA21の実行に必要な資源(人・物・金・情報)を用意する
	環境管理責任者を任命する
	EA21の全体的な取組状況を評価し、見直し、必要な指示を行う
環境管理責任者	環境経営システムを構築し維持する
	環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する
事務局	環境活動の予実管理を行い、数値のとりまとめを行う
	EA21委員会を開催する
	環境経営レポートを取りまとめ、作成する
	法令の順守状況をチェックする
環境委員会	原則として月1回開催し、実施状況の確認と必要な措置を検討する
	全体的な見直しのために必要なデータを集計する
EA21各部門正副責任者	自部門の環境教育を推進する
	自部門の環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践し推進する
社員	EA21部門責任者の管理・指導の下、環境活動を推進する

(7) 環境経営レポートの公表の方法

- ① 当社支店・事業所に書面で備え付け、閲覧に供します。
- ② エコアクション21中央事務局ホームページに掲載し、公表します。

2. 対象・登録範囲

株式会社武揚堂 全組織を対象とする

3. 環境経営方針

環境保全の理念

株式会社武揚堂は、今ある命と今後生まれる命の為に、今ある地球環境をよりよい状態で次の世代に引き継ぐことが持続企業の使命の一つであることを深く認識し、今よりも更に豊かで安全な地球環境の実現に寄与するよう努めます。

環境行動指針

当社は地図印刷を主体とし、一般総合印刷、グラフィックサイン、地理空間情報などを用いて顧客の問題を解決することを事業活動としています。この事業活動を営むにあたり、以下の行動指針を定めます。

- ① 製品の企画・設計、原材料の調達、製品の製造から出荷、リサイクルおよび営業活動まで、環境に対する影響を常に配慮します。
- ② 環境経営目標を設定して環境負荷削減に取り組み、継続的改善を図ります。
- ③ 二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)を推進します。
- ④ 廃棄物の削減とリサイクル活動を推進します。
- ⑤ 総排水量削減を推進します。
- ⑥ 化学物質の適正管理を推進します。
- ⑦ 事務用品や原材料のグリーン購入を推進します。
- ⑧ エコプリンティングを推進します。
- ⑨ 関係する環境関連の法律、条例を遵守します。
- ⑩ 環境教育、掲示物を通して全従業員の環境意識の向上に努め、近隣及び社会との環境の調和を図ります。

平成22年8月1日
代表取締役 小島 武也

4. 中期環境経営目標

環境目標 (全て総量管理による)

二酸化炭素排出量 単位:全てkg-CO₂ 目標値／実績値

方針	基準値	2023年度 目標値	2023年度 実績値	2024年度 目標値	2024年度 実績値	2030年度 目標
電気	2013年度 158,270	112,571	110,656 (達成)	110,296	97,023 (達成)	91,495
都市ガス	2013年度 1,051	509	457 (達成)	499	540 (未達)	455
ガソリン	2013年度 76,613	38,505	35,233 (達成)	35,787	32,336 (達成)	25,053
軽油	2019年度 7,588	4,905	5,920 (未達)	4,703	5,810 (未達)	4,564

※2022年度より、国の制定した温室効果ガス(CO₂)削減目標【2030年において、2013年比マイナス46%】に沿う形で
弊社の削減目標を再制定した。

②リサイクルの推進

マテリアルフローの把握(2023年10月～2024年9月) ※単位はkg

種別	購入実績	使用実績	廃棄・リサイクル
印刷用紙	256,643	256,643	35,910
刷版	3,723	3,593	3,665
印刷オフセットインキ	925	805	330

※印刷オフセットインキは「プロセスインキ」、「特色インキ」、「海図用インキ」、「地形図用インキ」、「ユボ用インキ」の合算値。

リサイクルの推進(2023年10月～2024年9月) ※単位はkg

種別	目標	実績	評価
紙(印刷用紙)	40,227	35,910	○
紙(新聞・段ボール)	4,511	4,910	×
紙(雑誌)	792	90	○
紙(その他)	845	390	○
刷版	4,397	3,665	○
合計	50,772	44,965	○

③廃棄物の削減(2023年10月～2024年9月)

※単位はkg

種別		目標	実績	評価
一般廃棄物		6,384	4,881	○
産業廃棄物	廃インキ缶	298	361	×
	廃油	416	403	○
	廃プラ	8,667	6,183	○
	廃油(ガム廃液)	271	240	○
	廃アルカリ	※数値把握のみ	640	
特別管理産業廃棄物	CTP現像廃液	389	340	○
	廃油(インクトナー)	20	30	×
合計			13,078	

④水使用量の削減(2023年10月～2024年9月) ※テナント契約上の理由により、

目黒、北陸のみ把握

※単位はm³

	目標	実績	評価
総排水量	441	452	○

⑤コピー用紙の削減(2023年10月～2024年9月) ※自社内コピー機カウン

数による

※単位はカウント数

	目標	実績	評価
紙(コピー用紙)	217,975	177,994	○

※2024年度目標数値について

一部の数値は2021年度～2023年度の実績結果より再制定した。

5. 環境経営計画

2025年度以降環境目標

二酸化炭素排出量 単位:全てkg-CO₂ 目標値／実績値

方針	基準値	2025年度 目標値	2026年度 目標値	2027年度 目標値	2030年度 目標
電気	2013年度 158,270	107,010	104,757	101,446	91,495
都市ガス	2013年度 1,051	490	482	473	455
ガソリン	2013年度 76,613	31,312	30,444	29,228	25,053
軽油	2019年度 7,588	4,800	4,752	4,704	4,564

6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

(1) CO₂の削減(責任者: 管理部マネージャー)

総エネルギー消費量の削減を行うため、下記活動を継続的に実施する。

④電力量削減

- ・電力使用量の把握(請求書より計算)
- ・昼休み時の消灯
- ・エアコン温度の適正化(原則夏季27℃・冬季21℃)
- ・作業数、業務内容に応じたPC台数・省エネ設定の実施
- ・印刷機を同時に立ち上げないなど、印刷機の適正運転管理
- ・在宅テレワークの推進

⑤ガソリン使用量削減

- ・ガソリン使用量の把握(請求書より把握)
- ・エコドライブの促進(テレマティクスサービスの運行記録より把握・教育)
- ・ハイブリッド車、軽自動車の導入
- ・公共交通機関とレンタカー、カーシェア等各種モビリティシステムの活用

(2) リサイクルの推進(責任者: 製造部マネージャー)

資源浪費の防止と生産効率の向上のため、マテリアルフローの把握を下記のマテリアルについて実施する。

- ・印刷用紙購入量・使用量の把握(重量に関しては用紙連量÷1,000=用紙1枚あたりの重量(kg)×使用枚数で求める。)
- ・刷版購入量・使用量の把握
- ・インキ購入量・使用量の把握

(3) 廃棄物の削減(責任者:管理部、製造部マネージャー (印刷工程から発生する項目))

資源浪費の防止とリサイクルを推進するため、廃棄物削減に関して下記活動を継続的に実施する。

- ・ 廃棄物排出量の把握(マニフェストから把握)
- ・ 分別の細分化及び徹底
- ・ コピー用紙使用量の管理
- ・ 損紙の削減(予備紙・校正紙の使用枚数適正化、不良率の削減)
- ・ 資材(インキ、溶剤、現像液、湿し水)の適正使用・管理による廃棄物としての排出削減

(4) 水使用量の削減(責任者:管理部マネージャー)

水使用量の(生活用水)の削減のため、下記活動を継続的に実施する。

- ・ 水使用量の把握(請求書より把握*)

(5) 化学物質の管理(責任者:製造部マネージャー)

化学物質の適正管理および使用量の把握を行うため、下記活動を実施する。

- ・ SDSの取得・保管
- ・ リスクアセスメントの実施
- ・ 環境負荷の低い化学物質を使用する資材への変更の検討

(6) 騒音・振動数値の把握(責任者:製造部マネージャー)

工場内及び敷地境界にて測定をおこない、基準値内に収まるように把握する。

(7) 製品・サービスの環境配慮(責任者:営業部マネージャー)

製品・サービスの環境配慮については、今年度2件の実績があったが、FSC認証、GPと合わせて顧客提案を行い、実績を積み重ねていく。

取り組み状況の確認及び評価

Check

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取り組み結果とその評価、 次年度の取り組み

(1) 取り組み経緯

現在世界的に環境に対する企業活動の影響について注目されることが多くなり、環境への対応を怠ること自体が企業存続のリスクとなってきた。また、企業活動は地球やそこに存在する生命から恵みを与えられ、かつ多大な影響を与えている。

経営上のリスクを減少させ、今ある地球環境を次の世代にもよりよい形でつないでいく為、さらに企業と生きとし生けるものとの共存・共栄を図るためにも、環境マネジメントが必要であると判断した。

(2) 環境負荷の実績

① CO₂排出量の削減

	2023.10～2024.9目標		2023.10～2024.9実績		評価
	消費量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	消費量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	
電力量(kWh)	259,521	110,296	249,036	97,023	○
ガソリン(ℓ)	160,112	37,146	13,938	32,336	○
軽油(ℓ)	2,027	4,703	2,252	5,810	×
都市ガス(m ³)	237	500	242	540	×
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	—	152,645	—	135,709	○

【エネルギーのCO₂排出係数】

エネルギーのCO₂排出係数については、電力については環境省HPに掲載されている「電気事業者別排出係数R4年度実績」(https://www.env.go.jp/press/press_01075.html)より事業者ごとに数値を引用して計算する。

都市ガスについては各事業者のホームページより最新年度の数値を引用して計算する。ガソリンに関しては環境省HPに掲載されている「参考資料 温室効果ガス排出係数(デフォルト値)」レギュラー:”2.32kg-CO₂/m³”、軽油:”2.58kg-CO₂/m³”を引用して計算する(http://www.env.go.jp/earth/ondanka/suishin_g/08.pdf)。

本社・目黒事業所

電力 電気事業者別排出係数 R4年度実績A0064 東京ガス 0.387kg-CO₂/kWhを使用
都市ガス 環境省発表 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 2.23kg/m³を使用

大阪支店

電力 電気事業者別排出係数 R4年度実績A0272 関西電力 0.360kg-CO₂/kWhを使用
都市ガス 使用せず

北陸営業所

電力 電気事業者別排出係数 R4年度実績A0268 東北電力 0.477kg-CO₂/kWhを使用
都市ガス 環境省発表 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 2.23kg/m³を使用

仙台営業所

電力 電気事業者別排出係数 R4年度実績A0268 東北電力 0.477kg-CO₂/kWhを使用
都市ガス 環境省発表 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 2.23kg/m³を使用

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果

環境法令を当社の関係する主要な関係法令は、以下の通りである。これらの関係法令に基づく管理規制基準の遵守、届出等の状況を確認した結果、いずれも適切に実施されていると評価した。

法規制等の名称	遵守内容	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物は全て産廃業処理者に委託して処理 排出量はマニフェストにて管理・保管（5年間） 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 水銀使用製品産業廃棄物は分別保管し許可業者に委託	遵守
家電リサイクル法	リサイクル基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	第一種フロン類回収業者への回収委託及び簡易点検委託確認書。引取証明書の保管、管理	遵守
騒音規制法	印刷機の届出・騒音測定 規制基準の遵守（50デシベル）	遵守
振動規制法	印刷機の届出 規制基準の遵守	遵守
消防法	自衛消防隊の編成 自衛消防訓練の実施	非該当
自動車NOx・PM法	ラベルの表示、SDSの交付、特殊健康診断の実施	遵守
東京都環境確保条例	ディーゼル車等の車種規制	遵守
目黒区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正処理に関する条例	カーボン排出量の把握等	推進中
中央区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	自動車排出ガスの排出基準の遵守 騒音・振動の規制基準の遵守	遵守
大阪府生活環境の保全等に関する条例	規制基準の遵守	遵守
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例	規制基準の遵守	遵守
新潟県環境基本条例	規制基準の遵守	遵守
新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	規制基準の遵守	遵守
宮城県環境基本条例	規制基準の遵守	遵守
仙台市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	規制基準の遵守	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車引取証明書の受取、リサイクル料金の支払い	全てリース車両
大気汚染防止法	設置届出、VOC排出濃度の測定、規制基準の遵守	オフセット 輪転印刷機 非保有のため
水質汚濁防止法	規制基準の遵守	遵守
PRTR法	SDSの入手・保管、指定化学物質排出量の把握、届け出	遵守
水銀汚染防止法	認可業者への引き渡し	遵守
労働安全衛生法	保護具等の管理	遵守

(2) 違反、訴訟等の有無

上記関連法規を理解・遵守し運営している。なお、過去3年間関係当局より違反の指摘はない。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

事業を取り巻く環境が大きく変化し環境への取り組みへの評価も変化してきている。余裕があればやったほうが良いというものからやらなければ事業が継続できないという流れになりつつあると感じている。

サプライチェーンの中でカーボンニュートラルに対する取り組みについてのアンケートが来たり、炭素税の導入が見込まれたり取り組まなければ事業のエコシステムから排除される可能性が高まってきている。

弊社では以前から環境への取り組みを行い、数値的にはそれなりの結果を出していると自負しているが、まだまだ改善の余地が大きいと感じている。特にPDCAの面では取り組みが甘い面が多いので計画策定時に目標を明確に設定し具体的な施策の落とし込みを行うようにしていく。

また外部への情報開示や環境面での啓発という意味も含めてエコプリンティングの推進を強化していく。弊社としての環境仕様を策定し顧客の仕様書に取り込んでいただくとともに社内の業務に関しても同様に環境仕様を取り込んで行くようにしたい。

更に環境への取り組みは引き続き行っていくが、経営としては視点を一段と上げCSRを経営の根本的な思想として取り組んでいく。環境への対応はそれを支える一つの方策として取り組みを強化していく。

具体的な方策としては再生可能エネルギーの導入、SBTおよびRE100Actionへの対応、事業継続力強化計画の策定などを行い環境への取り組みを行いつつ事業の強化を行っていく。

株式会社武揚堂 代表取締役 小島武也